

## 臨床心理アセスメント概説

---

### 臨床心理学におけるアセスメント

---

- 臨床心理学では何を測るのか
  - 心ですか？
  - それとも、行動？
  - 心とは何だろう、行動とは何だろう
- どう測るのか
  - 面接を通して
  - アンケートに答えてもらうことで
  - 「投影法」なんてのもあるらしい

### 人間理解の3つの方向性

---

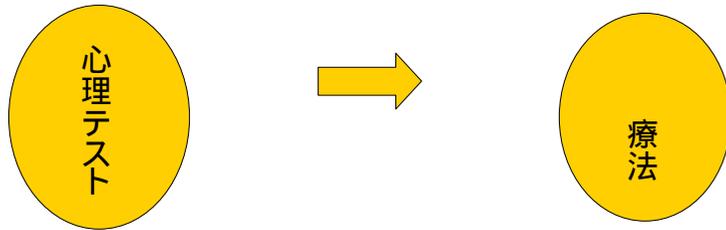
- 自然科学的・物質的 「構造」面からの理解  
生物学、身体医学
- 象徴的・比喩的 「内省」面からの理解  
文学、哲学、精神分析学
- 行動科学的・確率論的 「機能」面からの理解  
行動心理学、データ解析法

### 臨床心理学の車の両輪

---

- 科学としての臨床心理学は、大きく査定(アセスメント)と介入から構成されている。
  - 医学・医療を例えに出せば、診断と治療
  - 乾いた言葉で言うと、計測と制御
  - 自分のことと言えば、気づきとセルフコントロール
- つまり、臨床心理学におけるアセスメントとは、介入することが前提になっている。

# アセスメントと介入とは？

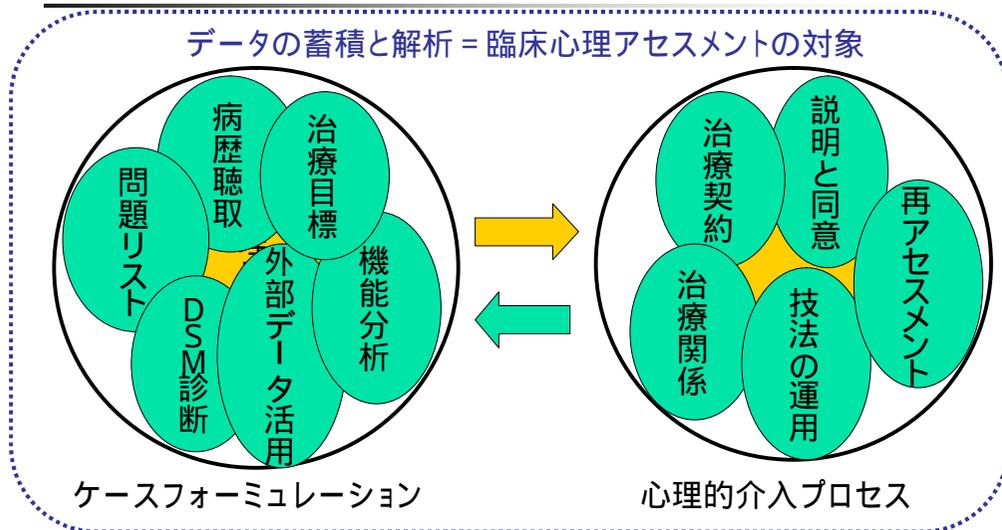


# アセスメントの諸技法

面接法 会話を通して情報を得る。	臨床面接法：心理援助のための面接。被面接者の話を中心とした非構造的な特徴で、面接者は被面接者の話を共感的に聴くことが重視される。 調査面接法：情報収集のための面接。面接者は調査目的にそった質問を系統的に行うので、構造的な面接となる。的確な情報を得ることが重視される。
観察法 行動をみることで情報を得る。	自然観察法：日常場面を観察する。状況を含めて対象の自然な状態を把握できるが、多様な要因が介在するので、焦点が絞りにくい。 実験観察法：観察の目的に合わせて観察する状況に統制や操作を加える。観察場面の条件が対象に影響し、行動が不自然になりやすい。 組織観察法：自然観察を効率的に行うために、観察の場面や時間を限定し、観察内容とその基準を明確にして観察する。
検査法 課題の遂行結果を情報とする。	知能検査：知的機能を測定し、知能指数 (IQ) を算出する。代表的なものとして、ビネー式、ウェクスラー式 (成人用：WAIS, 児童用：WISC) がある。 人格検査：質問紙法と投影法がある。質問紙法は簡便であるが、被検者の意識の影響を受ける。投影法は無意識を含め測定できるが、検査者の熟練を要する。 質問紙法：MMPI, TPI, Y-G 検査, CMI など 投影法：ロールシャッハテスト, TAT, 風景構成法, 箱庭, 文章完成法, P-F スタディ, 描画テストなど 神経心理学検査：ベントン視覚記憶検査, MRI, PET など

(下山晴彦, 2009)

# ケースフォーミュレーションとアセスメント



# ケースフォーミュレーションの構成要素

- 主訴・受診動機の確認
- 現病歴・既往歴・家族歴の聴取
- 心理機能の障害 (精神症状) の評価
- 問題リストの作成
- DSM診断の確定
- 外部データ活用
- 機能分析
- 治療目標立案

## 腹痛と通勤電車に乗る不安が主訴のBさん

- 26歳、女性、臨床検査技師。
- 腹痛、下痢、朝の通勤電車に乗る不安感を主訴に心療内科クリニックに初診。
- 大学卒業後A病院に勤務し、25歳時に新人を指導する立場になってから症状が出現し、ほぼ毎朝、腹痛と下痢がある。最初はたまに起こる程度だったが、通勤途中で腹痛のため電車を降りたことをきっかけに、同じようになるのを恐れ、通勤途中で度々降りるようになる。
- 消化器内科では特に大きな異常なく、自ら受診。
- 心療内科医が、腹痛などに関係した電車に乗る不安に心理的介入が有効と考え、心理士に面接を依頼した。

### 主訴・受診動機

- 何に困って受診したのかを必ず聞く(精神症状や身体症状があることが分かっているとしても)。
- 何を期待して受診したのか、なぜ今受診したのかということを、こちらが納得できるまで丁寧に確認していく。
- その上で、カウンセリングについてどう説明されたか、カウンセリングに何を期待するかを聞く。

## 現病歴

- 発症や経過にストレスなどの心理社会的要因が関わっていると考えられる場合、症状や問題の発症要因と維持要因は通常は同一のものではないので、詳しく聞いてもあまり治療に役立たないことが多い。
- 「人生相談」になってしまわないように、イニシアチブをしっかりと発揮してやり取りを進める。

### 心理機能の障害の評価

- 気分障害(うつ病)や不安障害はもとより、糖尿病、過敏性腸症候群、頭痛など様々な身体疾患にもうつ状態や不安が伴うことが多い。
- また、一過性のストレス反応でも、最もよく認められる心理機能の異常は、うつ状態や不安である。
- 困っていることを聞いていくだけでもこれらの存在を疑うことはできるが、簡便な心理検査を行うことによって、標準的状态からの偏りが分かるし、定期的実施すれば治療効果を見ることが出来る。

## 問題リスト

---

- 問題リストの内容としては、クライアントの主訴が含まれることは当然であるが、それに関わる心理社会的ストレス、生活習慣の問題、身体面の問題なども含めるようにする。
- 治療者の評価や解釈の結果が入るが、その妥当性は、後述の機能分析や治療経過を通して確認されることになる。

## DSM- 診断

---

- 精神疾患の診断名をつけることは、あくまでも、臨床心理アセスメントの一過程であることをわすれないようにする。
- 心理機能の異常(精神症状)の特定のまとまりが存在することを、理解することができる。
- 医学的(薬物)治療、認知行動療法などの治療効果のエビデンスに関して、外部データを活用する際の一つのカテゴリーになる。

## 診断とアセスメントの違い

---

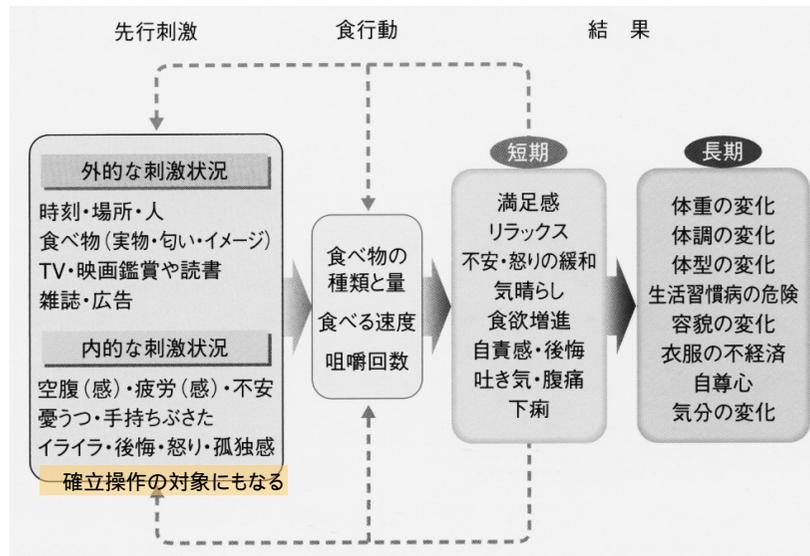
- 診断は、医学の概念。
- 「病気」を対象にするか、ポジティブな面も含めて対象にするか。
- 身体の問題を対象にするか、生活の問題(心理行動面)を対象にするか。
- 構造を対象にするか、機能を対象にするか。
- 一般性を重視するか、個別性を重視するか。

## 機能分析

---

- 問題行動(標的行動)の維持要因を、行動の連鎖にそって明確化するのが機能(行動)分析。
  - どんな状況で起こるのか(条件刺激・弁別刺激、確立操作)。
  - どんな行動か(標的行動)。
  - 直後にどのような結果が起こっているか(結果)。

## 食行動の場合



(足達淑子)

## Bさんの機能分析

- 標的とする問題: 腹痛・下痢に起因する乗り物恐怖
- 状況: 寝不足などで身体の緊張があると起きやすい(確立操作)。朝の満員の通勤電車の中でお腹の感覚に注意が向く(条件刺激・弁別刺激)。帰りの電車は平気。
- 行動: 不安な気持ちとともにお腹がゆるくなる感じが出現し、次の駅であわてて降りる(標的行動)。
- 結果: 不安感とともにお腹のゆるい感じがおさまり(嫌悪刺激の消失)、大変な状況を回避できたと思い(嫌悪刺激出現の阻止)、ホッとする(強化子の出現)。

## Bさんの場合

- 心理検査
  - BDI- :6点(正常範囲)
  - STAI-S:58点、T:51点(状態、特性とも高不安状態)
- 問題リスト
  - 腹痛(排便によって軽快する)
  - 下痢(繰り返して起こる、血便はない)
  - 乗り物恐怖(腹痛、下痢が怖くてすぐに降りる、朝の満員の通勤電車だけ)
- DSM- 診断
  - .パニック障害の既往のない広場恐怖、 .パーソナリティ障害:なし、 .身体疾患:過敏性腸症候群、 .心理社会的ストレス要因:新人の指導、 .社会適応度:65点

## 初期対応

- 説明と同意
  - ケースフォーミュレーションの説明
  - 治療方法の説明と選択
- 治療の進め方の約束(治療契約)
- 治療目標の話し合い
  - 長期目標
  - 短期目標
- 目標達成のための治療開始

## 治療目標の立案

---

- 治療のゴール(長期目標)と、当面の治療方針(短期目標)とに分けて考える。
- クライアントが主体的に取り組むことで症状や問題をセルフコントロールできるようになることが重要なので、最初から治療の出来上がり像を話し合っておくとよい。
- 長期目標を達成するために、当面何をしていくかをまずは話し合っておいて治療を開始する。

## Bさんの場合 - 治療目標と介入内容

---

- 長期目標:朝の通勤電車を降りない。
- 短期目標:リラクゼーション法の習得と、電車の中での不安感の観察・足の裏へ注意を向ける練習。
  - 状況:寝不足などで身体の緊張があると起きやすい。朝の満員の通勤電車でお腹の感覚に注意が向く。
    - 日頃の緊張をほぐすために、リラクゼーション法を毎日練習する。電車の中で足の裏の感覚に注意を向ける練習をする。
  - 行動:不安な気持ちとともにお腹がゆるくなる感じが出現し、次の駅であわてて降りる。
    - 自覚的な不安を得点化し、3分おきに記録する練習をする。
  - 結果:不安感とともにお腹のゆるい感じがおさまり、大変な状況を回避できたと思い、ホッとする。
    - 電車に続けて乗れた時に何が起るかをよく観察し、自覚する。

## 参考文献

---

- 下山晴彦:臨床心理アセスメント入門 - 臨床心理学は、どのように問題を把握するのか。金剛出版, 2008
- 村上宣寛・村上千恵子:改訂臨床心理アセスメントハンドブック。北大路書房, 2008